

団体情報	
団体番号	10
団体名	写真部
所属人数（前年度）	43

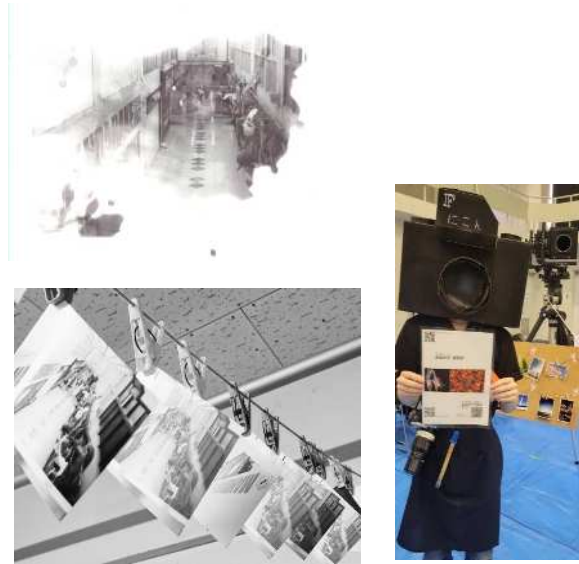
※この報告書は、学生支援課のHPを通じて学外にも公開されるとともに、サークル棟の継続使用の判断材料として利用されます。

別紙の記入要領を参照の上ご記入ください。

	活動目的	団体の結成目的や活動の目的・目標などを記載してください。
		写真を撮る大学生に発表の場を用意するという目的に加え、部員達の交流により期待される技術向上・情報交換も目標にしています。
活動報告	活動内容	Ⅰ. 前年度の活動内容について記載してください。 ①通常の活動 部室にて毎週開催している部会に加え、月に1回の撮影会を実施し、部員間の交流を図りました。これらの活動では、部員が自身の技術力向上を目指して、技術指導や情報交換を頻繁に行っています。また、カメラに触れて間もない部員への指導も行っており、スマートフォンによる撮影からフルマニュアルの機械式カメラによるフィルム撮影まで、幅広く対応しています。 さらに、部室を活用した季節イベントの開催、暗室を使用した作品制作にも取り組んでいます。加えて、美術部や医学部写真部や他大学の写真部といった団体との連携も積極的に推進しました。 ②社会や地域貢献活動 当写真部は、写真技術の研鑽に加え、その専門性を活かして島根大学の活動に多方面から貢献しています。具体的には、イベント広報用写真の撮影、寄付支援者向けカレンダーへの写真提供、入学・卒業アルバム制作のための撮影協力などを行っており、いずれも重要な役割として部員が責任感を持って継続的に取り組んでいます。学生団体として活動しながらも、大学全体の取り組みに寄与しています。 また、「島根音美」では作品発表に加えて運営にも深く関わり、中四国地区における大学間の文化交流に貢献しました。さらに、地域イベントにも参画し、地域文化の振興にも寄与しています。 これらの活動は島根大学の魅力発信につながるものであり、SNSでの情報発信と併せて、山陰地域全体の魅力を広く伝える機会の創出にも貢献していると考えています。 ③その他アピールできること 当写真部は大小2つの暗室を保有しており、いずれも現在稼働しています。これらの設備により、フィルム現像だけでなく、焼き付けまで一貫して行うことが可能です。焼き付けとはフィルム写真のプリント方法の一つであり、現在主流であるプリンタによる出力とは大きく異なります。この作業には専用機材・印画紙・薬品に加え、外光を遮断できる暗室が必要です。 一般的な大学写真部では、比較的实施しやすいフィルム現像でさえ活発に行われていない場合がありますが、当写真部は圧倒的な設備によりフィルム現像にとどまらず、作品制作としての焼き付けまで実施できる点が強みです。 当暗室では、35mm判、中判、大判（4×5インチ）をはじめとする複数の白黒ネガフィルムに対応しています。また、カラーネガフィルムの現像プロセスであるC-41現像にも今後取り組む予定です。さらに、カラーフィルム対応の機材も整っており、薬品や印画紙の経済的問題が解決されれば、カラーネガの焼き付けも実施可能と考えています。

こうしたフィルム関連の活動を発信するため、写真部の下部組織として「島根大学写真部LAB」を設立しました。本組織は、暗室活動の情報を広く発信するとともに、他大学や地域のフィルム写真愛好者とのネットワーク形成にも寄与しています。さらに、この活動をきっかけとして同人技術雑誌を制作・頒布するなど、技術の探求と普及の両面に取り組んでいます。

近年は写真のデジタル化が進み、フィルム写真に必要な薬品や印画紙などの消耗品は入手困難や価格の上昇が続いています。そのため、本活動の維持・発展には一定の負担が伴っています。このような希少性の高い暗室活動やフィルム写真文化の継承・発展のために我々には何ができるのか、日夜頭を悩ませています。



Ⅱ．活動実績（大会、コンクールなどの実績を記入してください。）

なし

			金額（円）	備考（内容等）
収支報告	収入	繰越金	¥511,781	
		入部(会)金	¥45,000	3000円／人（年額）
		部(会)費	¥42,000	3000円／人（年額）
		サークル援助金（学推会より）	¥80,000	
		活動・イベント収入	¥14,000	
		寄付金	¥0	
		スポンサー収入	¥0	
		その他	¥0	
		収入合計	¥692,781	
	支出	備品等購入費	¥74,703	
		施設等利用料	¥0	
		大会等参加費	¥0	
		広報活動費	¥28,290	
		交際費	¥0	
		交通費	¥0	
		その他	¥0	
		支出合計	¥102,993	
差引収支		¥589,788	次年度への繰越金	

※年間の収支を記入してください（昨年4.1～今年3.31）

希望する支援や要望 事項※	大学に対する支援や要望	部室棟のインターネット環境がデジタル写真の送受信を行うには貧弱すぎる。インターネットは現代の大学生に必要不可欠であり、整備状況により部室棟全体の活気に大きく影響すると考える。改善希望。
	学外の団体等への要望	機材や薬品や印画紙のための経済的支援の他に、不要となった写真機材の寄附などを頂けますと大変助かります。無価値に思えてもそうで無い場合が多々あります。

※経済的支援だけでなく施設利用などの要望でも構いません。なお要望には具体的な理由もお書きください。